

英語を楽しく

☆ can ≠ be able to

can と be able to は同じ意味でない

can は、身に備わる (備わった) 能力、be able to は、一時的な能力を表す。

例、The baby can't walk yet. (赤ちゃんはまだ歩けない。)

・成長するのにつれて歩く能力が身に付くから can



He isn't able to walk because of his sore feet. (彼は足が痛くて歩けない。)

・足の怪我は一時的なもので、治れば歩けるから

be able to



{注意}

日本に来た外国の人に、気軽に、

“Can you speak Japanese?”

と質問する人がいますが、この質問は大変失礼。

それは、入社試験でもないのに個人の日本語の能力を問いただしていることになるからです。

ですから、日本語で話したい、或は日本語について話したいときには、

“Do you speak Japanese?”

「日本語を話しますか？」

と言います。

☆現在の自分の気持ちを過去進行形の文で言うと、とっても丁寧。

「荷物を運ぶのを手伝って欲しい。」の気持ちを言うのでも 4タイプ

丁寧 ① I hope that you will help me to carry my bag.

↓
② I hoped that you would help me to carry my bag.

↓
③ I am hoping that you will help me to carry my bag.

↓
④ I was hoping that you would help me to carry my bag.

最も丁寧

I was hoping

that you would help ...

基本的事項 「過去形を使うと丁寧表現」

☆ 「ありがとう」を英語で “Thank you.” ですが、“Sank you” (君をしずめた)と発音してしまうこともあります。それを避ける言い方は、

“It's nice of you.”

です。ちょっと使ってみれば？

youのあとに to come to see me.

をつければ、

「私に会いに来てくださって ありがとう。」

という文になります。

It's nice of you

to come to see me.



I'm glad to see you, too.

Yoshi